

# タイヒミュラー空間の測地線と座標

天野 政紀

この講演では、漸近的ジェンキンス-ストレーベル測地線を利用したタイヒミュラー空間への大域的座標の導入法を紹介する。従来のタイヒミュラー空間のフェンチェル-ニールセン座標がリーマン面の双曲構造を利用していることに対し、この座標はリーマン面上の平坦構造を利用しており(すなわち正則二次微分を伴っている)、それ固有の長所や短所も紹介したい。